

2024.12
Vol.130

にいだがわつうしん 新田川通信

発行元：(有)佐藤建業

南相馬市原町区北新田字広田170

Tel : (0244) 22-7619

Mail : info@sato-kengyo.jp

<https://www.sato-kengyo.jp>



今 新田川では 北新田(きたにいだ)



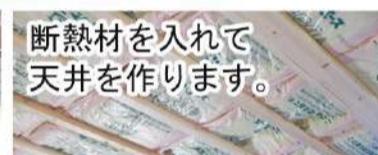
ここは北新田にある野球場のすぐ西手に流れる新田川。実はここ…当社の目と鼻の先です。奥には紅葉している木々があり、手前にはオギがまばらに生えていました。(河川に生えているのはススキではなく、ほとんどオギなのだそうです) 冬の到来を感じさせる景色でした。

◀服につくと厄介な、こやつもいました…。コセンダングサといいます。

大工さん 今日はどんなお仕事？



Before



断熱材を入れて天井を作ります。



床は土台から全て修繕します。



Beforeと同じ場所で撮影しています。

After

間もなく完成の予定です。窓も新しく、数も増えてお部屋が明るくなりました。

今回は、H様邸のリフォーム工事です！いくつかお部屋を大規模に改装しましたが、メインが和室をリビングにする工事です。壁、床、天井を解体して、新たにお部屋を作りました。新しく対面式キッチンも入りました(*^*)v

本年も格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。と固く感謝をお伝えするところではございますが少しだけ私たちの言葉で伝えさせて下さい。今年も一年たくさんのご依頼を頂き、たくさんのお客様との出会いがありました。ご依頼を頂けることは私たちにとってとても嬉しいことです。その中で本当に多数のご依頼を頂戴し、お待たせしてしまう時もありました。早く対応したいのに出来ないもどかしさが常に一年でした。その時にお客様から頂ける言葉が、「佐藤さんに頼むわ」「建業さんにお願いしたいの」「忙しいでしょ？いつでもいい訳じゃないけど待ってるからやってよ」「大丈夫だよ、待ってるから。でも急いでね」そんなお言葉を頂き本当に励まされました。この一年だけではありません。今までずっとそうでした。96年間、北新田のこの地で大工をやってきた信頼が作りあげているものだと自負し実感しています。待って頂ける、こんな幸せを感じながら、どのようにお客様に感謝を伝えようか考える日々です。会長(父)、事務長(母)からは、お客様との絆の作り方を学び、私たち若夫婦へと代が変わり、奮闘した一年でした。会長と事務長は引退ましたが、ご指名頂ければ体が続く限りお伺い致しますのでよろしくお願い致します。会長と事務長からたくさんことを学んだ私たちですが、まだまだ未熟者ですので叱咤激励を頂戴したいと思います。「お客様を思いやる気持ち」私たちが一番大切にしていることです。そのようなを考えながら代替わりし早八年が経ちました。会長にはまだまだ敵いませんが私たちなりにお客様との絆を深めています。私事ではございますが、四人目の末っ子長男が三歳になりました。私が父(会長)から貰った全てのことを長男に引き継げるよう、これからも代表として父として頑張っていきたいと思います。最後になりますが、今年も一年佐藤建業をご愛顧頂き、応援して頂き、時には見守って頂き、本当にありがとうございます。またくる年くる年同じ感謝をお伝え致しますが、末永いお付き合いをどうぞよろしくお願い致します。社員一同、感謝。ありがとうございます。

《社長あいさつ》



有限会社佐藤建業 代表取締役 佐藤哲信

《大工さんのアイテム》

工具入れ(工具箱)

大工さんが、現場で使う自分の道具を入れておく、工具入れ。

スコップや脚立など、大きな道具は軽トラやダンプで運びますが

手持ちの道具は車に積んで、いつでも使えるように持ち運んでいます。

収納の仕方はそれぞれで、性格が出ているかも知れません(*'艸')

現場監督も、自分で使う手持ちの道具を積んでいます。

今回は、みんなの工具入れがどんな様子か、見てみました。



「おや…? 折り畳みイスや毛布等、休日のキャンプ道具が…(*'ω')

こちらは現場監督のラゲッジ。ほぼ測定関係の道具です。↓



←軽トラで移動している大工さんの荷台は工具が満載です。電動工具、ビス、釘など、きれいに積まれています。流石ですね！

こちらは普通車の→ラゲッジに積まれた荷物です。整理整頓されていますね。

抜き打ちで撮影しましたがみんな使いやすいように工具入れをきれいに重ねて置いていました。



～冬の寒さ対策～

暑く長～い夏が終わったと思ったら、急激に寒さがやってきましたね。

これから冬本番を迎える中で、寒さや凍結の対策についてお伝えします。



●暖かい空気は部屋の上の方に溜まるので サーキュレーターで空気を循環させる。

●床にラグやマット、カーペットを敷く。

●窓サッシに隙間テープを貼る。

●カーテンを厚手のものに変えて、窓からの冷気を防ぐ。
(※断熱のために窓ガラスに緩衝材のプチプチを貼ると、ガラスにくっついてしまう場合があるので注意…)

●エコキュートをご使用の場合は、凍結しないように旅行の時も電源をオンのままにする。

●水道管が凍らないように、給水管の水抜きを行う。また、保温材や凍結防止ヒーターを巻く。

もし凍結してしまったら、直接お湯をかけずに、タオルを巻いてからお湯をかけて解凍する。

としこ 年越しそば



大晦日(12月31日)に、縁起を担いで蕎麦を食べる行事、年越しそばは、江戸後期(遅くとも1814年)には日本の文化・風習として定着したようです。

江戸中期頃には、商家が月末に蕎麦を食べる『三十日蕎麦(みそかそば)』という習慣があり、これが年末、大晦日のみ行われる行事になっていましたと言われています。

では、なぜ蕎麦を食べるのか?理由は様々あります。

①その形状から『細く長く生きる』長寿を願うもの。

②他の麺類よりも切れやすいので、『一年の災厄を断ち切る』というものです。

③金銀細工師が、金箔銀箔を作る時にそば粉を用いたことから金運上昇を願って。

④そばは風雨にさらされても負けないので、無病息災を願って。

⑤五臓の毒を取り、当時流行っていた脚気(かっけ)も治すと信じられていました。

こんな工事ができます(公共工事編)



サビてしまっている歩道の防護柵を新しいものに交換する工事です。水路脇で雑草が生え放題だったため、草が生えてこないように、表面をアスファルト舗装で仕上げました。柵も3段から4段に増えて安心ですね！



▲機械が入らないので、人の手で舗装しています。熱々の材料(合材)を敷いて、転圧すると、アスファルト舗装の完成です。(寒いと冷えて難しいんです…)



佐藤建業にて
南相馬市の工事も
行っています(^^)/

などなど、縁起も良く、健康にも良く、おいしい蕎麦。尚、薬味でよく使われるネギにも『労ぐ(ねぐ)』という意味があるようです。



■年越しそばの食べ方

実は…決まりは特にありません!

更に『太く長く』の縁起を担いで、山形県の太い蕎麦や、うどんや、沖縄そばを食べたり。

薬味や具材も何でもOK。食べる時間も、大晦日であればいつでもOK。好きなように、おいしく食べましょう(^_^♪



■日本では蕎麦と言えば『麺』ですが、世界的には珍しく、海外では蕎麦の実を茹でて色々な味付けをして食べたりするようです。他にも、そば粉から作る料理の『ガレット』などが有名ですね。

